

雇用の創出と 人材の育成を

市内2事業所で登米市震災 対応人材育成事業入社式

東日本大震災で、廃業や解雇により失業した人へ、雇用機会を提供するとともに、地域ニーズに応じた人材の育成を目的とした市の委託事業「登米市震災対応人材育成事業」の入社式が10月3日、市



IT分野での起業を目指す【eビジネスセンター】

内2事業所で開催されました。迫町の「登米市eビジネスセンター」には、インターネットを使用したビジネスやネットショップの運営を目指す15人が入社。研修プログラム開始にあたって決意表明などを行いました。

同じく迫町に開設した「NPO法人ワーカーズコープ登米事務所」においても、共に地域に伝える仕事づくりを目指し介護や福祉関係の起業を目指す15人が入社し、入社式が行われました。今後、入社した皆さんは来年の3月までの半年間、それぞれの分野で基礎研修や専門的な研修を行い起業を目指し、受託事業者は起業に向けた支援を行います。



介護・福祉分野での起業を目指す【ワーカーズコープ】

スポーツを通じて健康づくり

第6回登米市スポーツまつり

スポーツへの関心を深めるとともに参加者の交流を目的とした、第6回登米市スポーツまつりが10月10日、南方環境改善センターと周辺体育施設などで開催されました。当日は、一般を対象とした「ふるさとウォーキングin南方」、「グラウンド・ゴルフ交流」、就学前児童とその保護者を対象とした「親子元気アップセミナー」など3種目が行われ、参加者は思い思い



ポールを使ったノルディックウォーキングの体験も

にスポーツを楽しみました。「ふるさとウォーキングin南方」には約150人が参加し、念入りに準備体操をした後、南方農村環境改善センターから大嶽山方面に向けた往復7.5kmをウォーキング。秋晴れの空の下、気持ちの良い汗を流していました。南方中央運動広場で開催された「グラウンド・ゴルフ交流」には100人が参加。スコアを競いながら、わきあい



終始なごやかなムードで行われたグラウンド・ゴルフ

あいとグラウン・ドゴルフを楽しんでいました。南方公民館で開催された「親子元気アップセミナー」では、とめレクリエーション協会の指導の下、親子で体力作りに役立つリズム体操などを行いました。また、各種目終了後昼食時には豚汁が振舞われ、参加者はスポーツの秋と秋の味覚の両方を満喫した1日となりました。



親子と一緒に、楽しく運動を体験

宮城の元気は登米市から！

登米市観光物産大博覧会2011

登米圏域の観光と旬な食材など物産の復興を全国に発信する祭典「登米市観光物産大博覧会2011」が10月1・2の両日、宮城の元気は登米から！の合言葉のもとに登米町で開催されました。博覧会は、観光PRブースの「観」（蔵シヤム）、食・物

産販売ブースの「豊」（蔵シヤム前広場）、シンポジウムの「学」（森舞台）、美・芸術ブースの「趣」（高倉勝子美術館）、復興支援コンサートの「楽」（登米祝祭劇場）の5会場で開催されました。開催初日の1日には、モノマネでおなじみのコロッケさんによる「復興支援ミニライブ」や森舞台（登米町伝統芸能伝承館）を設計した建築家隈研吾さんによる基調講演、登米市出身のピアニストの及川浩治さんによる「ピアノリサイタル」が開催され観客を魅了していました。



大勢の観客が集まったコロッケさんのミニライブ

そのほか会場では、購入者がお気に入りの商品に投票し順位を決める「伊達なお土産コンテスト」や「Ricce1グランプリ」が開催

されたほか「子どもアートフェスティバル」、「復興軽トラ市&復興大市」、「米粉クッキング」などに大勢の人が訪れ、豊かな旬の味やイベントを楽しみました。投票の結果、各グランプリには「伊達なお土産コンテスト」はパティスリーくりこのロールケーキ（南三陸）、「Ricce1グランプリ」は菅原屋のとおりめし（中田）が、それぞれ選ばれました。

市内産新米の 味を堪能

平成23年 登米市の新米を味わう会

平成23年産新米の出来栄を確かめる「登米市の新米を味わう会」が9月22日、迫町ホテルサンシャイン佐沼で農業関係者や消費者ら約190人が参加して開催されました。これは、環境保全米の販路



色やつや、香りを確かめながら新米を楽しむ参加者

拡大と市内産農畜産物の安全・安心をPRしよう、と、市や農協などで構成する「市農業振興協議会」が毎年開催しているものです。会では、市長が「市内産の米は県、市いずれの検査でも放射性物質は不検出でした。全国に安全・安心米のメッセージを届けたい」とあいさつをした後、市内産環境保全米のササニシキとひとめぼれが振舞われ、和牛ブランド推進協議会提供の登米産牛とともに新米の色やつや、香りを味わいました。



「登米市の恵みを満喫してほしい」と述べる市長

仙台市から参加した女性は「米の香りや張りがあつておいしい」、「放射能問題も安全性が確認されたので大変安心」と話していました。